



シンポジウムおよび研究会の開催報告

メタデータ	言語: jpn 出版者: 室蘭工業大学航空宇宙機システム研究センター 公開日: 2016-04-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 棚次, 亘弘 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10258/00008666

シンポジウムおよび研究会の開催報告

航空宇宙機システム研究センター長
棚次亘弘

平成17年度には、以下のシンポジウムと講演会を実施しました。

- (1) 航空宇宙輸送システムに革新をもたらすための飛行実験シンポジウム
開催日：平成17年6月16、17日
- (2) 特別講演会「ロケットエンジンの材料・構造に関するトピックス紹介」
開催日：平成18年2月16日

(1) 航空宇宙輸送システムに革新をもたらすための飛行実験シンポジウム

平成17年6月16、17日に本学(N401講義室)および登別グランドホテルにおいてシンポジウムを開催しました。別紙に講演プログラムおよび講演案内リーフレット、参加の状況を集計した結果の概要を示します。国内の大学・研究機関から9件、国外から4件の講演を頂き、200名を超える参加者がありました。

ご講演頂きましたパワーポイント原稿は、CDに納めご参加頂きました方々に配布いたしました。

本シンポジウムの開催のために、以下の各機関からご寄付を頂きました。

- ・北洋銀行 東室蘭支店
- ・産学連携プラザ「創造」
- ・北海道科学技術創成センター (HASTIC)

篤く御礼申し上げます。

本シンポジウムの開催に当たり、小林事務局長はじめ、事務系職員の方々のご支援を頂きました。特に、地域連携課の木村課長、国際交流室の荒木専門職員には国内外の関係者との交渉に尽力を頂きました。また、機械システム工学科の航空基礎講座の先生方には会議の進行にご協力いただきました。関係者に篤く御礼申し上げます。

(2) 特別講演会「ロケットエンジンの材料・構造に関するトピックス紹介」

平成18年2月16日に本学(共同利用施設3F会議室)において特別講演会を開催しました。

航空宇宙輸送システムに革新をもたらすための飛行実験シンポジウム

The Symposium on Flight Tests for the Innovative Aerospace Transportation System

講演プログラム

講演会(1) (日本語)

日時： 6月16日(木) 14:00~16:40

場所： 室蘭工業大学 N401 講義室

司会： 新井隆景(大阪府立大学), 姫野武洋(東京大学)

1. **航空宇宙機システム研究センターについて**
棚次亘弘, 溝端一秀, 杉山 弘, 田頭孝介(室蘭工業大学)
2. **CAMUI型ハイブリッドロケットの開発**
永田晴紀, 戸谷 剛, 工藤 勲(北海道大学), 秋葉鏝二郎, 伊藤献一(HASTIC)
3. **小型電動飛行ロボットの研究開発**
久保大輔, 鈴木真二, 土屋武司(東京大学)
4. **これまでそしてこれからの飛行実験**
藤井謙司, 白水正男, 塚本太郎, 石本真二(JAXA)
5. **再使用型離着陸ロケット実験**
稲谷芳文, 成尾芳博(JAXA)

講演会(2) (日本語)

日時： 6月17日(金) 10:00~12:00

場所： 登別グランドホテル

司会： 永田晴紀(北海道大学)

1. **高速軌道走行装置**
溝端一秀, 木幡行宏, 棚次亘弘, 杉山弘(室蘭工業大学)
2. **気球を利用したエアブリージングエンジンの飛行試験について**
藤田和央, 澤井秀次郎, 小林弘明(JAXA), 溝端一秀(室蘭工業大学)
3. **小型超音速無人機(SUP)計画**
姫野武洋(東京大学), 小林弘明, 小島孝之(JAXA), 麻生茂, 谷泰寛(九州大学), 新井隆景, 坂上昇史(大阪府立大学), 湊 亮二郎(室蘭工業大学)
4. **HyShotによるスクラムジェット飛行実験計画**
伊藤勝宏, 須浪 剛(JAXA), Allan Paull(The University of Queensland)

講演会(3) (英語)

日時： 6月17日(金) 13:00~16:00

場所： 登別グランドホテル

司会： 棚次亘弘, 齋藤務(室蘭工業大学)

1. **Suborbital RLV Development and Flight Test Programs among Leading US New Space Companies**
Charles J. Lauer, Director of Development, Rocketplane Ltd., USA
2. **PHOENIX Flight Project**
Josef Sommer, EADS Space Transportation, Germany
3. **HyShot Flight Project**
Allan Paull, Professor, the University of Queensland, Australia
4. **Highlights of the recent NASA X-43A flights at Mach 7 & 10**
David Reubush, the US lead for the AIAA HyTASP, USA

飛行実験シンポジウム 参加者数集計結果

表 1 イベント別参加登録者数

	事前登録結果	実施結果
参加者総数	188	203
講演会(1)	163	160
講演会(2)	127	117
講演会(3)	125	120
レセプション	65	65

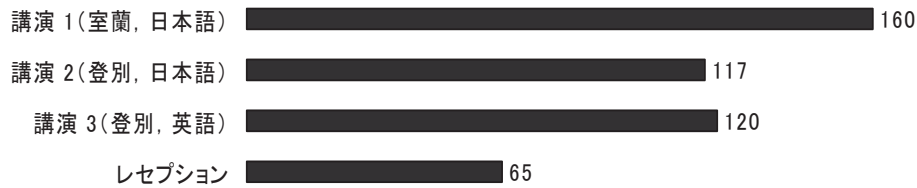
表 2 イベント別参加者内訳

	参加者数	本学学生	道内	道外
講演会(1)	160	67 (41.9)	120 (75.0)	24 (15.0)
講演会(2)	117	38 (32.5)	79 (67.5)	29 (24.8)
講演会(3)	120	42 (35.0)	82 (68.3)	31 (25.8)
レセプション	65	12 (18.5)	40 (61.5)	21 (32.3)

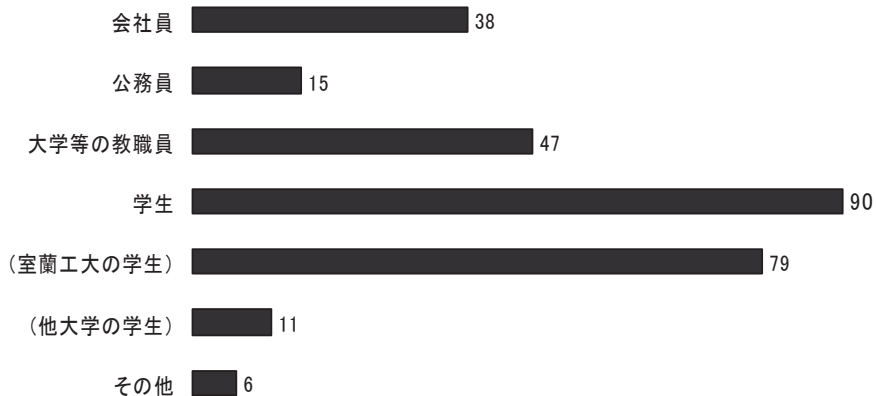
※ 「道内」は「本学学生」を含む。

※ ()内の数字はパーセンテージを示す。

参加登録者数 イベント別分布 (単位:人)



参加登録者数 職業別分布 (単位:人)





松岡健一理事(室工大)



棚次巨弘教授(室工大)



永田晴紀助教授(北大)



久保大輔院生(東大)



藤井謙司主任研究員(JAXA)



稲谷芳文教授(JAXA)



講演会(1)会場の風景 (室蘭工業大学)

講演会(2) 6月17日(金) 登別グランドホテル



溝端一秀助教授(室工大)



藤田和央主任研究員(JAXA)



姫野武洋講師(東大)



伊藤勝宏主任研究員(JAXA)

講演会(3) 6月17日(金) 登別グランドホテル



Charles Lauer、Rocketplane 社(米国)



Josef Sommer、EADS 社(ドイツ)



Allan Paull、Queensland 大学(豪州)



David Reubush、AIAA HyTASP(米国)



講演会(3)の会場の風景 (登別グランドホテル)

レセプション（登別グランドホテル）



田頭孝介 副学長



佐々木 誠 副学長



杉山 弘 機械システム工学科長



矢島 室蘭テクノセンター専務理事



レセプション会場の風景（登別グランドホテル）

－航空宇宙機システム研究センター特別講演会－

日 時 平成 18 年 2 月 16 日 (木) 13:30～15:00

場 所 共同利用施設 3F 会議室

演 題 「ロケットエンジンの材料・構造に関するトピックス紹介」

講 師 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構

ロケットエンジン技術センター 開発試験ユニット

森谷 信一 氏

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構

ロケットエンジン技術センター エンジンシステムセクション

佐藤 正喜 氏

概 要 ロケットエンジン及びノズルの材料・構造に関するトピックスを紹介する

- ・ロケットエンジン燃焼器の破壊モードと長寿命化
- ・ロケットエンジンノズルの材料・構造及び機能
- ・角田宇宙センターにおける燃焼器材料研究の紹介
- ・角田宇宙センターにおける伸展ノズル研究の紹介

世話人

航空宇宙機システム研究センター 併任

助教授 駒崎 慎一